

2004
夏号
No.32

ミソハギの咲き誇る水車小屋のある庭

目 次

| | | | |
|-------------------|-------|-------------------|-----|
| あいさつ 会長 乗松文男 | P2 | 庭回廊にパパフラ・ママフラン登場 | P8 |
| 第二十五回通常総会開催 | P3 | 庭の日イベント | P9 |
| 会長表彰・新役員の紹介・受賞者紹介 | P4 | 浜名湖花博写真特集 | P10 |
| 浜名湖花博特集 | P5～P7 | 造園施工管理技士会だより | P11 |
| 西部支部の屋内出展「優秀賞」に輝く | P8 | 特別寄稿 (株)キャップ 河合有三 | |
| 庭園ガイド人気好評 | P8 | 話題の森・編集後記 | P12 |



会長 乗松文男

此の度は役員の皆様の御推挙により國らずも会長という大任を仰せつかり、身の非才も顧み見ず御引受け致した次第であります。その責務の重大さを今更ながら痛感致しておりますところであります。

世情では、景気は上向きの傾向になりつつあると伝えられておりますが、私共造園建設業界にとりましては受注工事の減少に伴う低価格競争又は労務賃金の下落等々依然として先の見えない厳しい現況の中に立たされている状態であります。当協会挙げて協力体制に努めて参りました浜名湖花博関連工事も一段落致しまして、今後に残された山積する諸課題に文字通り生き残りをかけ、向い風に立ち向かって真面目に取り組んでいかねばならぬと思います。向い風に真正面から突き進んでこそ、帆は空高く舞い上がり、大空に羽ばたく鳥達も向い風を活用してこそ舞い上がること

が出来ます。厳しい向い風に立たされている私共業界も、いかにして此の向い風を活用して追い風にもつて行くのか試験の時であると思います。地球の温暖化、大気汚染、自然破壊等直接、間接的に我々に係りのある環境緑化は大きな問題になっております。緑化に携わる我々は此れ等の諸問題に積極的に取り組み、ただ時の来るのを待つだけでなく、攻めの姿勢で発注者に技術及アイデアの提言、助言をして、緑の担い手としての技術の向上を図るは勿論のこと、社会的的地位の向上に励み新しい事業の展開を進めて行かねばならないと思います。大勢の人が何となく集まっているだけでは組織とは言われず集団であります。皆んなが同じ目的をもち、その目標に向かって力を合せる大勢の人々の集まり、それが組織であります。此のような困難な時こそ造園緑化協会と言う組織のもと会員一体となつて業界発展と会員の繁栄の為に希望をもつて前進して参らねばならぬと思う次第であります。私も微力ながら与へられた責務を全うすべく全力を投入して参る所存でありますので会員の皆様の一層の御支援、御協力を重ねて御願い申し上げまして私の挨拶とさせていただきます。

樹木余話

ミンハギ(ミンハギ科)

冬には地上部は枯れるが、地下茎は残り、翌春再び芽を出す宿根草。

花は紅紫色の穂状で、花穂を水に浸し、お清めに使う地方もあるところからミンハギ(稚秋)と呼ばれていたのが、ミノハギに転じたと言われる。ボンバナという別名があるが、旧暦のお盆の頃に花が咲き、仏花として用いる習慣があつたことによる。

やや湿った土壌を好むが、性質は強健。洋花オランバードの花博会場で日本古来の花の存在を誇示している。日本庭園にはもうと使用したい花だ。



第二十五回通常総会開催

第二十五回通常会を四月二十八日、静岡市ブヶ東海静岡において、森本勲国土交通省静岡国道路事務所長、本間康弘環境森林部森林総室長、秋田勝財静岡国際園芸博覧会協会会長、事務局長、顧問の奥之山隆県議会議員をはじめ、国、県、関係団体等多数の臨席を得て盛大に開催した。



あいさつする栗松新会長

浜名湖花博への施設出展 県営住宅団地緑地維持管理調査等、平成十五年度の盛り沢山の事業報告及び収支決算、浜名湖花博への屋内出展、庭園ガイド等花博関連事業を盛り込んだ平成十六年度事業計画案等全ての議案が原案通り可決承認された後、一年に一度の役員改選で乗松文男新会長が誕生しました。



祝辞の本間環境森林総室長

来賓からは、本間康弘

「御誕生日」を行なった。中体調を崩した会長に代わって渡井副会長を議長に選び、議案の審議に入つた。

結果、会長に乘松文男、副会長には東部文部・渡井公平、中部支部小林登、西部支部・片桐利男、専務理事に川崎順二が選任され、乗松体制のスタートをきった

て居る所間の東之山臨県議員、秋田勝国際園芸博覽事務局長の四方からそれらの立場で祝辞をいたいた。

られた。種智哲大夫元会長の後任として三月六年、しづおか緑花・祭やしづおか国際芸芸博覧会、わかつじ国体等直接参画をした。

調査等盛り沢山の業務報
ひ収支決算が原案どおり
された。

総会終了後は、会場を変えて、片桐副会長のあいさつと乾杯の発声により懇談会に移った。

二号議案の事業計画 浜名湖花博への出展、 相談所の開設、電子

八 育

時代に対応したパソ
研修会等多岐にわた
る内容及び予算案も

ごおり承認された。

社団



祝辞の森本 効静岡国道事務所長

会長表彰

◆受賞又はその代表者

(有)緑香苑 山本宜司
(株)藤浪造園 藤浪 熟

株みどり園 高林久雄
株武井造園 岩下数祝

静岡製葉株 池ヶヶ谷敏雄
有市川造園 市川明広

市川明広 市川久雄氏
緑香苑 山本宜司氏 藤浪 朝雄



新役員の紹介

◆会長

乘松文男(株)キヤコブ 浜松市

渡井公平(株)大松園 富士市

◆監事

工藤友男(株)広野園 伊東市

樹園 藤枝市

小林 登(株)小林土木緑化
静岡市

片桐利雄(株)片桐造園建設
静岡市

袋井市)

◆理事

・専務理事 川崎順二(員外)
小林造園 富士宮市 本ノ

・東部支部長 小林召一(有)
下康一(有) 南伊豆造園土木
武井造園 三島市 坂本大

輔(静山園株) 沼津市
中部支部長 森敏夫(株) 森造園
森敏夫(株) 森造園 静岡市

静岡グリーンサービス 燃津
市) 小澤正幸(株) 小澤道
園 静岡市 森 延(有)

永井造園 磐田市) 江間正章
(株)江間種苗園 浜松市

山田正積(株) 静岡緑地建設
園土木 下田市) 市川高光(株) 市川
造園 静岡市) 永井慎吾(有)

永井造園 磐田市) 江間正章
(株)江間種苗園 浜松市

山田正積(株) 静岡緑地建設
園土木 下田市) 市川高光(株) 市川
造園 静岡市) 永井慎吾(有)

○委員長 飯田正徳(有) 飯田
庭園 静岡市) ○副委員長
渡邊進(有) 常華園 富士市)

○副委員長 山本哲也(有) 山
本造園 袋井市) 大石雅博
(有)好樹園 伊東市) 賴又

豊伸(大島造園土木(株) 静岡營
業所) 鈴木直衛(有) 玄庭園
沼津市) 大石誠三郎(株) 岳
陽グリーン 洋(良知樹園(株) 燃津市)
衆山則行(株) 東海フオレスト
島田市) 寺田祐一郎(有) 昭
陽(良知樹園(株) 燃津市) 中村永一(赤
堀産業株) 浜松市) 河合秀
晃(株)丸進造園 新居町)

各委員会委員紹介

◆総務企画委員会

◎委員長 小林昌二(有) 小林
造園 富士宮市) ○副委員長
鈴木寛(ナイセイ緑地(株) 浜

橋井淳(株) 静岡グリーンサ
ビス 燃津市) ○副委員長
鈴木寛(ナイセイ緑地(株) 浜

按井淳(株) 静岡グリーンサ
ビス 燃津市) ○副委員長
鈴木寛(ナイセイ緑地(株) 浜

◆啓発労働委員会
◎委員長 西野元(株)西野造
園 静岡市) ○副委員長 鈴
木泉(有)一窓園 富士市)

十六年度の優秀施工者国士
交通大臣顕彰者 通称 建設
マスターに東部支部の(株)
植松造園建設の植松静夫さん
が選ばれ、五月二十七日に東
京郵便貯金ホールにおいて顕
彰式が行われました。おめで
とうございます。

植松静夫さんは、長年造園
工事に携わり、本人の技術向
上はもとより責任感ある真面
目な勤務で、特に現場での指
示事項への対応が常に迅速で
技術力・技能力・管理力に優
れ、部下・下請業者からの信
頼も厚い。

造園技能士、造園施工管理
技士、土木施工管理技士とし
て現場の状況をよく把握し、
施工上の問題の処理、安全、衛
生の向上、部下の指導に努め、
常に現場成績の評価は高い。

受賞者紹介



優秀施工者国士交通大臣顕彰式

任退の西野前会長への花束贈呈

河合秀晃(株)丸進造園 新居町)



浜名湖花博特集

四月八日開幕した浜名湖花博の入場者は順調に推移し、会期半ばの七月十四日には、目標五〇〇万人の六〇パーセント三〇〇万人を達成した。しかし、七月に入つてからの連日の猛暑で入場者は減少、園芸博覧会協会ではあの手、この手の夏枯れ対策を講じている。開場前の早朝庭園ガイドもその一環で、(社)静岡県造園緑化協会内に事務局を置く静岡県造園施工管理技士会が二十四の国際庭園についての勉強を行い、土日・祝日の庭園ガイドに加えて七月二十日から国際庭園専門の庭園ガイドを行っている。

本号では、開幕前あるいは開幕後に工事や管理に係った会員からの投稿を掲載しました。

ワールドガーデンコンペに入選して

(有)玄庭園 鈴木直衛

「この前、花博行って来た。良かったよ」、「〇月〇日花博行って来るよ」、この頃、知り合いに会うたびに声を掛けられる。東部の方々が非常に興味を持って多勢の人方が会場に行つてくれていることを実感しております。又全國の造園家の仲間からも毎週のように問い合わせがあり、少しでも関係したもの一人として大変うれしく感じております。

昨年の四月にワールドガーデンコンペに入選して、今年は玄庭園の鈴木直衛さんです。玄庭園は、静岡県の玄海町にある庭園専門の会社で、鈴木さんは玄庭園の代表取締役です。

ソコンべに日本の代表の一人に選ばれ、十月に現地に乗り込み、完成まで延べ日数で三ヶ月くらい掛けて仕上げました。施工場所が四方向から見えると云うことと、思った以上に風が強いと云うことを見地で感じ石積や垣根を大巾に変更せざるを得なく、全体のデザインを変えることなく施行するのに植栽を含めて苦労しました。日頃、若い人に「庭は技術だけでは出来ない」と云っているのに、少し技術にこだわりすぎた点と、期間中半年間ベストの状態で見てもらう為に風を意識しすぎて、高木植栽で景色を二分した事を反省しております。

私は作庭家として一番大事な事は「命ある植物を嵩木から下草までいとおしむ使い」と「無機質な石ころに自分のエネルギーを注入して、石に命を吹き込み、景石や石組みとして、自分の替わりにものを云わせる」と云う意識の両方が大切だ

うたびに声を掛けられる。東部の方々が非常に興味を持つて多勢の人方が会場に行つてくれていることを実感しております。又全国の造園家の仲間からも毎週のように問い合わせがあり、少しでも関係したもの一人として大変うれしく感じております。

「この前、花博行って来た。良かったよ」、「〇月〇日花博行って来るよ」、この頃、知り合いに会うたびに声を掛けられる。東部の方々が非常に興味を持つて多勢の人方が会場に行つてくれていることを実感しております。又全国の造園家の仲間からも毎週のように問い合わせがあり、少しでも関係したもの一人として大変うれしく感じております。

十年と云う単位の時間のフィルターを通して、作者のエネルギーが発散し続けなければいけないと考えております。今回の様な庭で不特定多数の人を見ていたとき、少しでもその事を感じたとき、少しでもその事を感じていたたく人がいてくれたら幸

つております。

造園緑化協会の役員、事務局の皆様の御高配と、花博の役員をはじめワールドの担当の皆様

方の御助力と御配慮に厚く御礼申し上げます。今後共よろしくお願い致します。



リピーターが多くなるような維持管理

(株)理研グリーン 酒井久美子

浜名湖花博が開幕し、早くも三ヶ月がたちました。開幕前に構成された限られた場所の緊張感のある心理的空間の「二

となり、月毎に植替わる草花はエリアの修景花壇植栽工事と維

です。

外国の作家が直前に来日し、庭に入ったと同時に庭が命を得て、空間が動きだしたことは驚くと同時に作庭家は同じであります。

すると新ためて感心しました。

英國の作家の草花の種類や花の色で、あたかも我々の地型や景石のバランスに似た表現をすることと、草花を密植するショウガーデンの手法は大変参考になりました。今後この様な機会がありましたら、岡に上ることなく、又挑戦していきたいと思つております。

造園緑化協会の役員、事務局の皆様の御高配と、花博の役員をはじめワールドの担当の皆様

方の御助力と御配慮に厚く御

礼申し上げます。今後共よろしくお願い致します。

よい風がお客様に喜ん
でもらっております。

体験学習会の方も毎

回人気があり、スケジ
ュール表を見て、わざわ
ざ参加して下さる熱心
な御客様もいらっしゃい
ます。協力して下さって
いる各分野の担当者の
方々や、協会の皆様のお

かげだと思っておりま
す。

私自身もやっている内
に、いつしか鳥や水辺の
生き物の名前を覚えた
り、自分で捕つて来た貝
やカニなどを水槽に入
れて展示し、子供達な
どに説明したりして
います。

展示パネルにも、体験学
習会にても、慣れない事ばかり
で、とても100%満足な物
ではないかもしれません、しか
しほどんと無知なスタート地
点から、協会の監督員他、各團
体の方々と共に作り上げたこの
自然観察園、十月の閉幕の時に
は花博全体の喜びと共に
大きな充実感を味わえるのでは
ないかと思います。

魚介類の観察(水産試験場 漁業士会協力)



出展庭園について

(株) 青木大輔

青木大輔

浜名湖花博が開催されて三
ヶ月余経ち会場内の植物管理

作業もたいぶ慣れてきました。

開催当初はお客様に見所

や植物名等をよく尋ねられ十

分な返答が出来ず辛い思いをし

ました。

浜名湖花博の庭園展が平

成十四年六月に決まり、庭園の

設計などまったく経験がない私

が担当となりました。

使用する材料の選定にもか

なり力を入れ知人やお店にも

足を運びました。

庭園のイメージに近い素材を

見つける中、色々な知識が身に

付きました。

最初は好奇心でいっぱいでした
が、私のデザインもなかなか

通らず社内での意見も二軒三

軒し不安で眠れない日もあり

ました。

庭園のメインに設

置する船については、

静岡県浜松土木事務

所の管理課で沈没船

の処分や保管をして

いることを知り保管

場所へと案内してい

ただきました。

案内された場所に

は三十から四十艘も

の所有者のわからぬ

い船が置かれています。

この様な浜名湖の
花博にアドバイスをしてく
れた方々本当にありがとうございました。



庭園風景

開幕してみれば、会場内で唯一、浜名湖の自然に直接触れる事のできる場所であり、何としても抜群のロケーションと心地

協力を求めながら資料収集をしまいました。そして体験学習会を実際にに行う為の検討打ち合わせを何度も重ねて、なんとか実施にこぎつける事ができました。

通した専門家や各種団体などに協力を求めながら資料収集をし

てまいりました。そして体験学習会を実際にに行う為の検討打ち合わせを何度も重ねて、なんとか実施にこぎつける事ができました。

展示了する船については、

静岡県浜松土木事務所の管理課で沈没船の処分や保管をしていることを知り保管場所へと案内していただきま

ただけきました。

庭園のメインに設

置する船については、

</div

西部支部の屋内出展 「優秀賞」に輝く



西部支部は、六月二十六日から七月四日までの展示会テーマ「涼の花風景期間に清涼の庭」と題して二〇〇平方メートルの庭園と古タイヤをリサイクルした床材料の見本展示を行った。庭園は日本古来の植物、庭園をベースに涼を感じさせるよう日本古来の植物を展示しつつ、現代社会で環境問題となつていて



古タイヤ利用商品の見本展示

完成した清涼の庭の一部
た。
る廃タイヤの
リサイクル商
品を利用した
園路を設け、
歩行者の膝に
もやさしく、
地球にもやさ
しい庭がコン
セプトとなっ
ている。その
見本も展示し



好評のガイドツアー 土・日曜・祝日に1日4回、協会出展の「水草小屋のある庭」を出発点に、1回30人の定員で行っている。

従業、(株)西野造園の西野ういか、
株片桐造園建設の和田典
久の五氏です。



据付け直後のパパフラ・ママフラ

庭園ガイド 人気好評

庭回廊にパパフラ、ママフラ 登場

浜名湖花博会期中の土・日曜・祝日に造園施工管理技士による庭園ガイドを行って、人気を博している。

ガイドは会場内的一般的な案内を行うアテンダントと専門的な庭園解説を行う造園施工管理技士とペアで、一日四回行う。会期中の土・日曜・祝日は六十二日間。庭回廊の庭園を案内しているが、七月二十日から八月二十八日までは、火・木・土曜日の七時半からの早朝ガイドツアーも加わり、大忙しの技士会の皆さんである。



植物の植え込み作業
トになつてゐる。
悩みはカナダの冷涼な気候と
異なり高温多湿の日本、製作当
初はよかつたのに連日の猛暑で
植物がむれるなど傷みが激し
いことです。
ちなみに、パパフラ、ママフラ
の大きさは高さ二・五メートル、
使用した植物材料はアルタナン
テラ、ディコンドラ等九種、一萬
九千株。

協会は、(財)静岡国際園芸博協会からの委託を受けて、昨年、カナダで研修してきた

のは、株八ヶ代造園の藤井
徳雄、(株)庭仁の渥美仁志
(有)小林造園の望月千尋、
パパフラ、ママフラを製作し庭
回廊に設置しました。

製作に当たつていただいた
モザイカルチャーテク法で、バ
バフラ、ママフラを製作し庭
回廊に設置しました。

昨年、カナダで研修してきた
のは、株八ヶ代造園の藤井
徳雄、(株)庭仁の渥美仁志
(有)小林造園の望月千尋、
株西野造園の西野ういか、
株片桐造園建設の和田典
久の五氏です。

パパフラ、ママフラと手をつ

庭の日イベント



クイズに挑戦する参加者



バッタリを不思議そうに跳める親子

(財)静岡国際園芸博覧会協会では毎月二十八日を「庭の日」として設定し、各出展者に独自の行事開催の協力要請をしている。県造園緑化協会は水車小屋のある庭に植栽してある樹木、草花十種に番号札を付け、ヒントを書いた答案用紙を渡してその名前当てクイズを行った。参加者には協会の冊子を、全問正解者には草花のポット苗を贈ったが、毎回とも大勢の挑戦者でにぎわった。

協会の庭園は猛暑の続く夏になつても水車の廻る姿、今では見るこの出来ないバッタリに涼を求めて大勢のお客でにぎわっている。



つくばいに手を伸ばす幼児



来場者の興味をそそるヤナギラン



庭園ガイド受付風景



霧園気の出てきた棚田



ワールドガーデンコンペティションでしづおかガーデン日本大賞に輝いた「和敬静寂」 With Garden 設計施工



ワールドガーデンコンペティションで最優秀プランツコーディネート賞に輝いた「リフレクションズ」 施工: 大昭和住宅(株)



ワールドガーデンコンペティション参加作品「郷愁」
設計: ジュリー・トール 施工: (株) 片桐造園建設



こんな変わった花も(国際花の交流館)
その名はブラックキャット



多肉植物60種32,000ポットで彩られた花壇(百花園コース)
溢まれて困っています



異国情緒たっぷりの水路の風景

造園施工管理技士会だより

第十九回通常総会開催

静岡県造園施工管理技士会（乗松文男会長）会員一七九名の通常総会が静岡県中部地区が集中豪雨に見舞われた（六月三日）

十日、JR静岡駅前のオケ東海静岡で開催され、事業報告と清算、事業計画と予算案等すべて原案どおり承認可決された。¹⁶

会終了後、「モサイガルチャ—製作と今後の展望」と題して、（株）八ヶ代造園常務取締役、衛藤徹雄氏による講演も催された。

引き続き、静岡県都市住まいの問題が、またもや頭を悩ます。

西日本園芸会議の開会式典に於け
し、水野豊副会長の開会の辞

日本語の二大文書

合わざ急遽月教彦副会長を

六本木ヒルズ庭園の視察、造
工

施等の事業実績並びに収支決

開催中の浜名湖花博庭園ガイド

画並びに予算案が原案どおり



造園施工管理技士 試験合格の喜び

(校)廿二、浪淘沙

当協会に事務局を置く、静岡県造園施工管理技術士会(会長 桑原又四郎)は毎年建設業法に基づく、二級の造園施工管理技術検定試験の前に、常任理事会を講習会で、受験対策講習会を実施しておりますが、本年も名古屋講習会として、「一級に合格した様」キャバの河合有三さんからその喜びの声をいただきました。おめでとうございます。

特別企劃

当協会に事務局を置く、静岡県造園施工管理技士会(会長乗松文男)は毎年建設業法に基づく一、

岡県造園緑化協会の着手グループで五人とともに約一ヶ月カナダで花博宣伝のモザイク製作に従事した。その実績を生かして、今回、同協会に依頼された「バーバラ・マーマラ」の製作に従事。その際の人工土壌、ネット、灌木床設、モザイカルチャード等について話された。

取組み等熱意のあいさつで総会を終了した後、(株)八ヶ代造園の常務取締役 衛藤徹雄氏が「ザイカルチャーチャー製作と今後の展望」と題して記念講演。衛藤氏は昨年五月、(出)静岡国際園芸博覧会協会からの依頼で(在)静岡にて

話題の森



「人と庭とのあり方はどんどん変わっている」と話す黒松文男さん

わび・さびから花あふれる空間へ

170を超える独創的な庭がずらりと並ぶ「庭回廊」。外国や地方自治体、企業などが、さらりと光る個性を庭でアピールしている。県造園施工管理技士会の専門グループが、庭園の一歩を進む黒松文男さん(72)に、高橋(高橋)

伝統的庭だな。時代の花争いではなく、庭はバケキョウをただにやまどり、外年に絶賛された。それから庭園は、四季の移り変わりが表現され、収穫を藝術的に刈れる。「アーリー」ある。自分で手を入れて楽しむことができる。庭には、昔古と今があり、庭園を楽しむ。庭のものだった今は農作物栽培して生活に溶け込める。

「家」と「庭」あって「家庭」／木1本でもできる

見立つよう印象が変わる。

甲斐市町村が提出する「まちの

庭」に

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭

庭